

福島県におけるもち大麦の特性

福島県農業総合センター 作物園芸部 畑作科

1 部門名

普通畑作物—大麦—品種

2 担当者名

平敏伸、安田裕基子、遠藤あかり

3 要旨

近年のもち麦の需要からもち性大麦栽培の情報が求められている。このため福島県で栽培可能となるもち性大麦「ホワイトファイバー」及び「はねうまもち」の栽培特性を明らかにした。

- (1) 「シュンライ」と比較し、「ホワイトファイバー」は出穂期が1日、成熟期が4日程度遅い。「はねうまもち」は出穂期が3日、成熟期が5日程度遅い。
- (2) 「シュンライ」と比較し、両品種ともに千粒重、容積重は同程度からやや軽い。穂数が多く収量は同程度から優る。外観品質は同程度からやや劣る。稈長、穂長が長いいため耐倒伏性は同程度からやや劣る。
- (3) 「ホワイトファイバー」の精麦特性は、搗精時間は長く、白度・搗精麦の外観は「シュンライ」並である。（「はねうまもち」に関してはデータなし）
- (4) 種子は、「ホワイトファイバー」はJA、「はねうまもち」は農研機構 HP に問い合わせのこと（www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/seeds_list/index.html）。

表1 もち性大麦の生育及び収量

品種名	年次	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	*1	*1	*2	*2	容積重 (g/L)	*3 等級
							倒伏程度 (0-5)	赤かび病 (0-5)	精子実重 (kg/a)	千粒重 (g)		
ホワイトファイバー	H20~22、H30	4.28	6.07	96	5.0	414	2	0	58.5	35.6	627	2下
シュンライ		4.27	6.03	89	4.3	386	2	0	52.5	36.7	629	2中
はねうまもち	H28、H30	4.27	6.10	102	4.8	624	5	0	74.4	34.0	624	2中
シュンライ		4.24	6.05	100	4.4	582	4	0	65.3	35.6	636	2中

*1 倒伏及び病害は0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚の6段階

*2 精子実重及び千粒重は篩目2.0mm、水分13%換算

*3 JA福島さくら農産物検査機関による7段階（1上、1中、1下、2上、2中、2下、規格外）の評価

表2 ホワイトファイバーの精麦特性

品種名	搗精時間		白度		搗精麦の外観			評価		
	(分:秒) 評点	評点	色調	黒条線 深浅度	総合		合計点	等級		
					評点	合計点				
ホワイトファイバー	5:53	40	48.2	30	3	3	3	10	80	B
シュンライ	4:45	50	50.0	30	3	3	3	10	90	A

注1 原麦180g（粒厚2.2mm以上）を、重量比55%に搗精するのに要した時間。

注2 色調、黒条線深浅度は5段階（1:良~3:中~5:否）に区分。

注3 評価は全麦連の評価基準に準じ、搗精時間、白度、搗精麦の外観の合計点により区分。

合計点90点以上：A、80点以上：B、70点以上：C、70点未満：D

注4 試験年度：H20~22

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間

平成20年度~平成22年度、平成28年度、平成30年度

(2) 研究課題名 奨励品種決定調査

5 主な参考文献・資料

なし